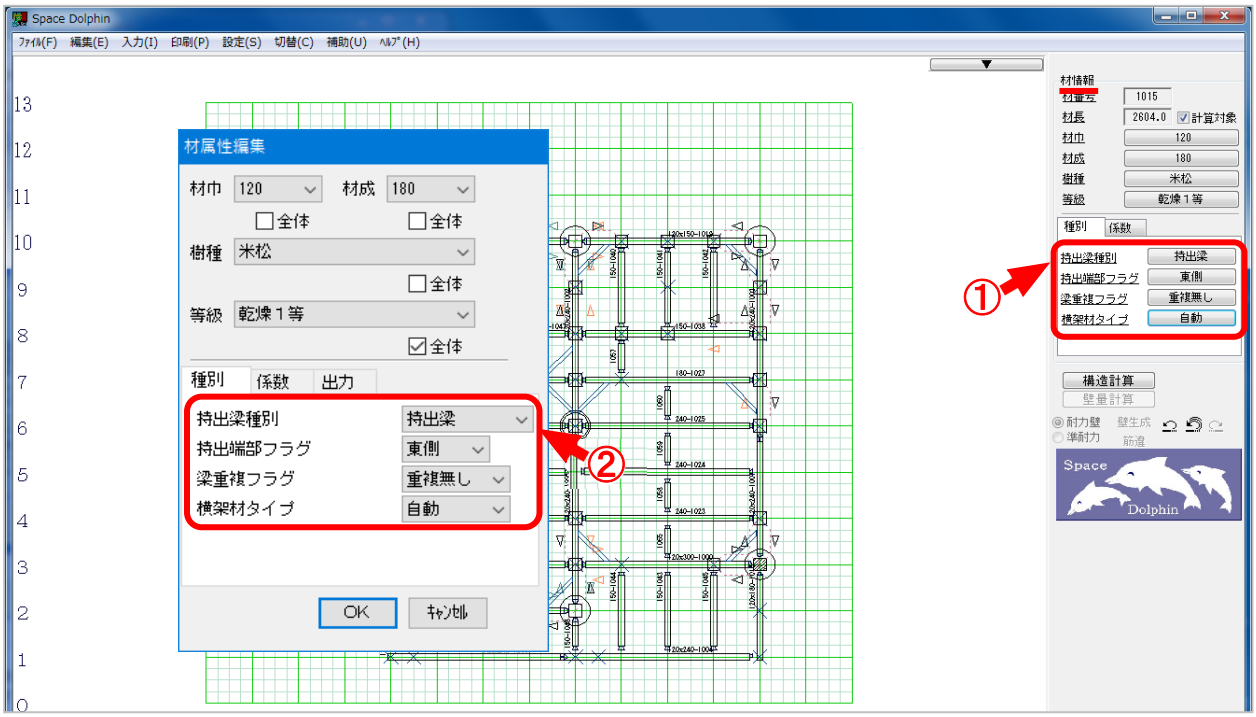
## 伏図モード―横架材―材属性編集―種別




**持出梁の判定は基本的には自動で行います。複雑な梁の組み方をした場合の計算結果が、正しく持出梁として判定されない場合は、梁の属性にて「持出梁」の指定を行います。**

① 持出梁を指定する横架材をクリックして〔材情報－種別〕の「持出梁種別」のボタンをクリックすると「材属性編集」画面が表示されます。

② 「持出梁種別」を設定して「OK」をクリックします。

**<持出梁種別>**

一般梁、持出梁、受梁、持出＆受梁(＝持出梁であり、かつ他の持出梁の受材となる梁)

**<持出端部フラグ>**

持出梁種別が一般梁、または持出＆受梁の時に有効です。持出している方角を指定します。

この設定も合わせて行わないと持出梁が正しく計算されません。

**<梁重複フラグ>**

標準階高に入力した梁下に、梁が平行に存在する場合（枕梁等）に使用します。

**<横架材タイプ>**

たわみの制限値に対するタイプの変更、及び母屋⇔小屋梁の変更ができます。

登梁上部の横架材が棟木（母屋）の場合、小屋梁に変更しないと支点となりません。